

この人に聞きました みんなの広場

今回は、「水神祭」について、高橋茂樹委員長が取材してきました

ことしは「水神祭(五料地区)」を見に来てください!

五料地区で行われている麦わら舟祭りは、江戸時代に創められたとされています。

江戸時代、五料宿には河岸が2カ所ありました。地域や船頭を水難から守る守護神として祀られ、水難除け祈願からの始まりとされています。



今では、飯玉神社に合祀された水神様の祭りです。

麦わらでつくった大きな船(水神丸)が御輿としてつくれます。

麦わら舟づくりは、6月の麦わらの手配から始まり、神社役員全員で袴取りを行います。7月に入ると茅刈り、竹伐り、縄編みを総代・指揮官で行います。

以前は、舟づくりは夏祭り(7月25日)の前日に

行いましたが、現在は祭りを日曜日に行うようになり、1週間前の日曜日に、役員全員と麦わら舟づくり後継者で、全長7メートルほどの大きな舟を完成させます。50年ほど前は、五料の中学生男子が夕暮れに担いで地区を練り歩き、五料橋上流から利根川に流しました。しかし、今は小学生と神社役員がリヤカーに乗せて地区を引きまわし、最後に神社役員の大人たちにより、利根川に流します。



水神丸を利根川へ

こちら編集室

三重県桑名市にある「なばなの里」のウインタイルミネーションと香風溪へ行ってきました。全国最大規模の水上イルミネーションに圧倒され、並ぶこと20分、100メートルの光のトンネルを抜けると、世界遺産富士山が出現し、観客全員がそのスケールと光の美しさに圧倒されました。そこに併設されている温室ベゴニアガーデンの花&花の美しさにも観客皆が感動しました。

翌日香風溪に行きました。日光を浴びながら山肌に映える紅葉、巴川に映る紅葉も必見です。人工の光の美しさ、自然の光の美しさ、どちらも水と自然の姿に光を取り入れ、我々を引きつけます。

- 議長 柳島 浩一
- 副議長 笠原 孝一
- 委員 渡辺 則彦
- 委員 石原 俊彦
- 委員 高橋 内秀夫
- 委員 茂國 雄樹
- 議会広報特別委員会

たまむら 議会だより
「議会終え肩の荷おろるじせきかな」
(詠み人 ひでお)

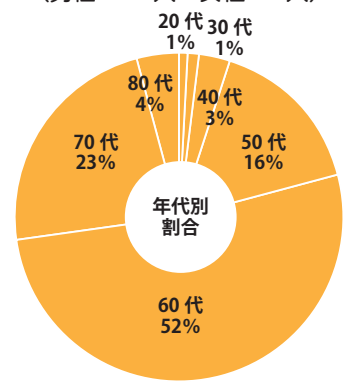
次回定例会の予定

3月4日

開会予定です。

本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます

12月議会の傍聴者は **77人** でした。
(男性：65人・女性 12人)



す。議会だよりの編集は師走、発行は正月です。平成26年が光輝かしい年であることを期待します。
(高橋茂樹)